

ご質問・VEご提案・見積依頼など、どのようなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



高知丸高

特殊基礎工事

第182号

新技術情報

令和3年7月

〒781-0014 高知県高知市薊野南町12番31号
[URL] <http://www.ko-marutaka.co.jp>

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641
[Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp

第4回JAPANコンストラクション国際賞(国土交通大臣表彰)を受賞

国土交通大臣表彰の「第4回JAPANコンストラクション国際賞」(中堅・中小建設企業部門)を受賞しました。同賞では、日本の国際競争力の強化や企業のさらなる海外進出の促進のため、「質の高いインフラ」を象徴する日本の強みを発揮した海外建設プロジェクトおよび海外で先導的に活躍する中堅・中小建設関連企業の中から特に優れているものを表彰しています。今回海外のインフラ整備などを行なう「中堅・中小建設企業部門」に、弊社を含む2つの企業が受賞しました。パキスタンの国道工事では道幅が狭く急カーブが多い山岳地域において、およそ2年半の工事を無事故無災害で完了したことなどが今回評価されました。

この度、大変栄誉ある賞を頂き、大変光栄に存じます。又、このような機会を賜りました、JICA・JETRO・JASMOC様始め、建設コンサルタント・総合建設業・高知県様含め、関係各位に心より感謝御礼申し上げます。



主な海外事業の概要と評価ポイント



ミャンマー ニャウフナッピン浄水場基礎工事

地盤沈下により、傾いていた浄水ポンプ場の隣接地において、新たにポンプ場を増設する中、基礎工事で振動を与えることで、危険性が伴い、使用できない可能性があるため、工法を提案し、施工を行い、地下水の遮断及び土留壁を完工しました。

評価ポイント

高知県と協力した営業活動や国際会議や展示会への参加を積極的に重ね、2014年にミャンマーで海外工事を初受注。



橋長381m、橋巾8m、杭長10~36m、本数231

パキスタン 東西道路改修計画(国道70号線)

国道70号線は、国土を東西に接続する基幹ルートです。山岳区間は、道幅が狭く、急峻で急カーブが続き、トラックの転倒事故や落石災害が多いため、交通の隘路となっています。ODAの有償プロジェクトとして、道路改修工事を進め、弊社は、断崖絶壁を通る長さ381mの難工事区間を手掛け、急な岩盤斜面に、上部工を先に架設した後、鋼管支持杭を打設するSqCピア工法(本橋ステップブリッジ工法)により、道路橋の施工を行いました。

評価ポイント

パキスタン国道70号線工事では、道幅が狭く急カーブが多い山岳地域において、地上作業量を削減できる独自技術のSqCピア工法(本橋ステップブリッジ工法)を用い、約2年半をかけた工事を無事故無災害で完工しました。



鋼管杭φ630 杭長23m 本数27本

ウガンダ ナイル川斜張橋基礎工事

ウガンダ国における北部回廊の輸送能力を増強し、安全な交通を確保する事を目的に、ナイル川の源流付近に東アフリカ初の斜張橋建設にあたり、超高周波可変式環境対策型パイロフォンサー+拡径ビットハンマー工法を用い、橋脚基礎杭先行掘削工事を施工しました。

評価ポイント

ウガンダでは、ナイル川源流付近で橋脚基礎杭先行掘削工事を実施し、東アフリカ初となる斜張橋建設に貢献しました。



フィリピン JICA中小企業海外展開支援事業 ～案件化調査～普及・実証・ビジネス化事業

JICAの中小企業支援事業案件化調査に採択され、フィリピンにおいて、5回の調査を実施。施工候補地視察・フィリピン法律規制/需要/販売ルート等の情報収集、環境調査を行いました。今年の秋頃、水陸両用掘削機を1台フィリピンに輸出し、1年半ほど浚渫・ごみ除去に関する普及・実証・ビジネス事業を行う予定です。

評価ポイント

JICA中小企業支援事業を活用しフィリピンにて河川のヘドロ・ごみの浚渫工事を実施中。洪水被害の低減を目指しています。



ミャンマー 高等学校寄贈

ヤンゴンの辺地(アマラワディ僧院)で高等学校を寄贈し、貧困で進学できない子どもたちに教育の機会を提供するためです。2019年9月にアマラワディ高等学校を建設し、無償で教育できる僧院学校で、一般教育を教えながら、実習生として日本で働きたい希望者を募り、日本語、日本文化や技術を教育し、即戦力となる技能者を育成していきます。

評価ポイント

ミャンマーに共同で高等学校を寄贈し、事業範囲にとどまることのない国際貢献により日本のプレゼンス向上にも寄与しています。



今後の案件

ミャンマー マンダレー港の接岸施設建設、荷役施設の機械化、ターミナル整備が行われます。弊社の基礎工事の技術が採用となり、現地で大口径海上斜杭、直杭工事を施工する予定です。

配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。